

研究環境整備構想

1 最先端科学技術を取り入れた医工融合研究の展開

国際医工共創研究院（2025年7月設置）において臨床現場（病院内・病院隣接棟）を活用した医工融合研究の実現・展開。ポイントは、全診療科が関与すること、本学が強みとする最先端科学技術研究者（量子半導体、情報AI、ロボティクス等）が参加すること。

2 若手研究者の活躍

若手研究者が自らの意思と責任で存分に研究できる人事制度改革。次世代人材育成機構による能力開発・メンタリング。右図の基盤技術とともに共同機器の拡充。国研や他大学等との研究交流会や海外研修への積極的な参加を奨励。

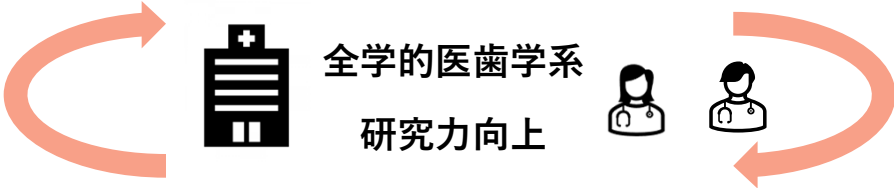
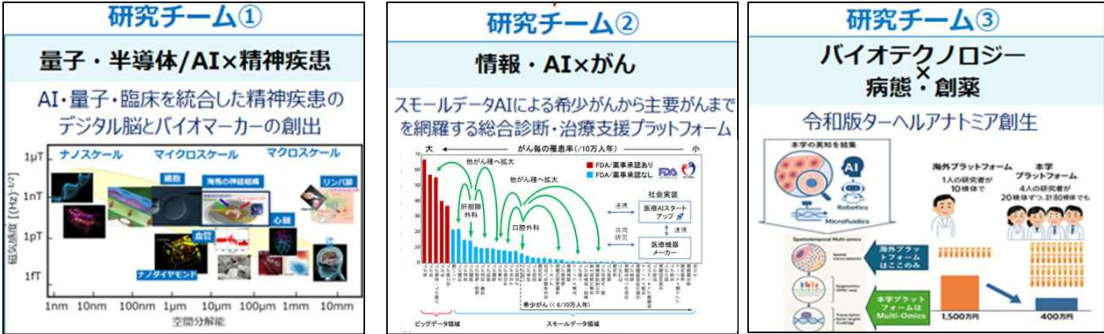
3 臨床系研究者の研究時間確保

生成AIを活用した医療DXの充実など研究以外の業務時間の削減。研究時間割合を明確化する人事制度改革。さらにバイアウト制度の活用。『TCカレッジ』による高度技術支援人材の育成を推進。完全自動実験による支援にて研究時間を有効活用。

研究構想



国研や海外大学等との連携



基盤技術1： マルチオミクス解析プラットフォーム「HARMONY」

基盤技術2： 完全自動実験技術（まほろ）

基盤技術3： 生成AI・医療データ